

成績評価基準 <シラバス補助資料>

◇成績評価は、原則として下記「評価基準」に基づいて絶対評価又は相対評価にて行う。
ただし、当該科目の関連する検定取得状況、平素の授業態度、確認試験、中間試験、出科率、ホームワーク状況及び各学科における科目重要度等により総合的に判断される。

◇評価基準

- a. 成績評価はS(秀), A(優), B(良), C(可), D(不可)の5段階とする。
- b. 科目終了時に試験・課題・レポート提出等を行う。(以下科目試験等という)

<絶対評価>

概ね以下の基準に従って評価する。

- S(秀)評価 : 科目試験等の成績が特に優秀な者(到達目標の9割以上)
- A(優)評価 : 科目試験等の成績が優秀な者(到達目標の8割以上9割未満)
- B(良)評価 : 科目試験等の成績が良好な者(到達目標の7割以上8割未満)
- C(可)評価 : 科目試験等の成績がやや劣る者(到達目標の6割以上7割未満)
- D(不可)評価 : 以下の各項に該当する者
- (1) 科目試験等の成績が著しく劣る者
 - (2) 授業態度、学習意欲が著しく劣る者
 - (3) 科目ごとの想定授業時数(授業コマ数)を出席していない者
- ※1単位あたり90分授業15コマ分(30単位時間)とする。
- 例: 2単位科目⇒30コマ(60単位時間)

<相対評価>

科目試験等の成績を基準にして、学生数の比率で、S(秀)評価: 1割、A(優)評価: 4割、B(良)評価: 4割、C(可)評価: 1割程度を目安とする。

また、<絶対評価>D(不可)評価の基準に該当する者はD(不可)評価をつける。

以上